ゲノムと時代を語るトークセッション

ゲノム談義

11月16日(土) 14:00〜16:00

会場 7F ◆ **中ホール**

※入場無料。当日参加を希望の方はお早めに受付までお申し出ください。

ゲノム研究は21世紀の社会において、最も重要なテーマのひとつとされています。「ゲノム談義」では、気鋭のオピニオンリーダーをゲストに迎え、最前線に立つ研究者を交えて、ゲノム研究のもつ時代的意義・社会的課題について闊達に語り合おうと思っています。

福岡会場では「ゲノム研究と市民のコミュニケーション」というテーマを軸に、議論を進める予定です。高度化、専門化するゲノム研究の内容を市民がどのように共有できるか。ゲノム医学の発展とともに生まれる社会的倫理的問題をどのような場で議論すればよいのか、などについて議論を進める予定です。もちろん、話の流れ次第で、予定外の話題もどんどん取り上げます。

どうぞお楽しみに。　（加藤和人）

パネリスト

瀬名秀明（作家）

1968年静岡生まれ。東北大学大学院薬学研究科博士課程修了。日本医科大学講師。'95年、大学院在籍中に発表した「パラサイト・イヴ」で日本ホラー小説大賞を受賞、映画化もされる。科学ノンフィクションにも積極的で、著書に「BRAIN VALLEY」「八月の博物館」「あしたのロボット」「小説と科学」共著に「ミトコンドリアと生きる」「「神」に迫るサイエンス」などがある。

青野由利（毎日新聞 科学環境部編集委員）

1957年生まれ。東京大学薬学部卒。東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了。毎日新聞に入社し'84年より科学部。'88年〜'89年フルブライト・フェローとしてマサチューセッツ工科大学で生命倫理などを研究。'99年〜'00年ロイター・フェロー。著書に「ノーベル賞科学者のアタマの中〜物質・生命・意識研究まで」「遺伝子問題とはなにか〜ヒトゲノム計画から人間を問い直す」など。

久原 哲（九州大学大学院農学研究院教授）

1950年4月20日生まれ。九州大学大学院農学研究院教授として勤務する。専門分野は生命科学バイオインフォマティクスである。情報処理学会論文賞などを受賞。また科学技術学術審議会専門委員・福岡県バイオ産業振興研究会委員など勤める。日本分子生物学会・日本農芸化学会・日本バイオインフォマティクス学会に所属している。

服巻保幸（九州大学生体防御医学研究所遺伝情報実験センターゲノム機能学分野・教授）

1949年佐賀生まれ。九州大学医学部卒。九州大学大学院医学研究科博士課程修了。九州大学病院内科研修医。YALE大学医学部研究員。九州大学医学部生化学講座講師、遺伝情報実験施設病因遺伝子分野助教授、教授を経て現職。遺伝子病の分子レベルでの解明に取り組んでいる。著書に「遺伝子を理解する」などがある。

進行

加藤和人（京都大学人文科学研究所助教授）

1961年京都生まれ。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。ケンブリッジ大学研究員、JT生命誌研究館主任研究員を経て現職。現在の専攻は、現代科学史・科学コミュニケーション。2002年4月よりHUGO（国際ヒトゲノム機構）倫理委員会委員。